

荻窪の歴史・まち・人を想う 15 の提案

～「住んでよし、訪れてよし」のためのプラン集～

15 Suggestions for our OGIKUBO

to be a better place to live in and a better place to visit

令和2年3月
March, 2020

目次

1. 背景と目的.....	1
2. 位置付け.....	2
3. 対象区域.....	3
4. 基本理念.....	4
5. 叶えたい具体的なまちのイメージと提案プラン.....	5
6. 各提案プランの実施ステップ.....	15
7. 今後に向けて.....	17
参考資料.....	18
(1) 地域資源.....	19
①すぎなみ景観ある区マップ	
・荻窪南編	
・荻窪北・下井草編	
②駅からお散歩マップ	
・おぎくぼ南エリア	
・おぎくぼ北エリア	
③三庭園めぐりマップ	
(2) 策定経緯.....	27
(3) 参考文献.....	28

1 背景と目的

杉並区では、地元発意のまちの将来像である「荻窪駅周辺地区まちづくり構想」の提案（平成27年）を受け、「荻窪駅周辺のグランドデザイン」として、平成29年に「荻窪駅周辺まちづくり方針」（以下、「まちづくり方針」という。）を策定しました。

荻窪には数多くの地域資源が集積しており、「まちづくり方針」では、「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」を目標の一つとしています。国指定史跡「荻外^{てきがいそう}荘」（近衛文麿旧宅）（平成28年3月指定）を活用した史跡公園「（仮称）荻外荘公園」の公開（令和6年予定）は、現在でも増加傾向の見られる来街者をさらに惹きつけることでしょう。

しかしながら、地域住民の方から、訪れる方が増えることに対して不安の声が聞かれたり、訪れる方からは「住宅地に点在した地域資源の場所がわかりづらい」とのご意見が寄せられている現状もあります。

このまちの現状への対応を、（仮称）荻外荘公園の公開を控えた今、荻窪のまちにお住まいの方、行政、事業者と一緒に考えて、取り組みたい、という思いから、本書の検討が始まりました。

本書は、農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ち等、荻窪のまちの魅力を様々な方に知ってもらうことでその価値を更に向上させ、荻窪にお住まいの方からはますます愛される存在とすること、まちを訪れる方からは「また訪れてみたい」と思っただけのようにすること、

すなわち、

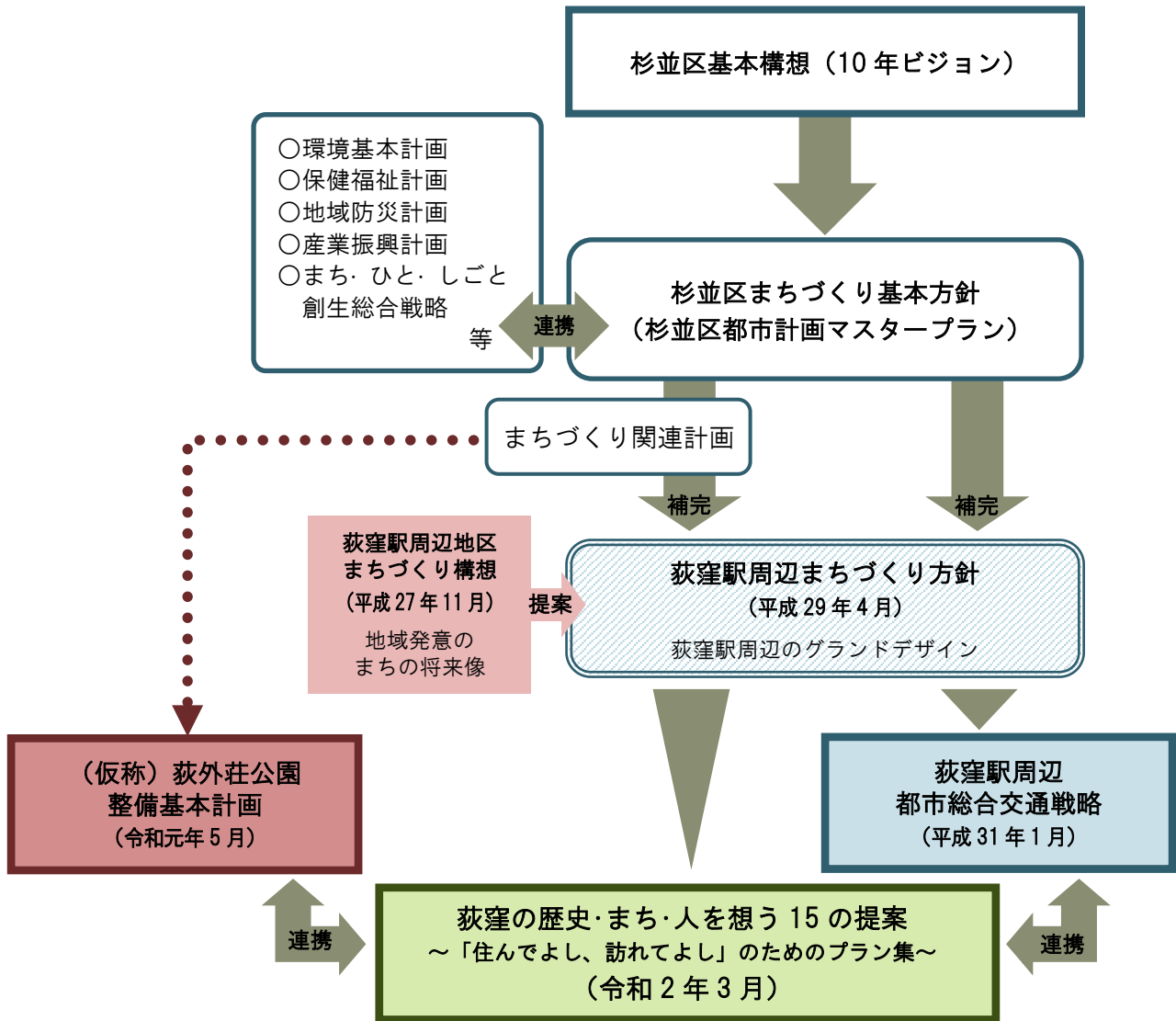
「まちづくり方針」で掲げた「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、このまちを舞台としてさまざまな形で活動する人が楽しく取り組めるプランを提案・共有すること

を目的として策定します。

2 位置付け

本書は「杉並区基本構想（10年ビジョン）（平成24年）」、「杉並区まちづくり基本方針（平成25年）」を上位計画とし、「まちづくり方針」の回遊性の向上に関するまちづくりの取組を定めるものとします。

また、交通関連の取組と連携した総合的・一体的なまちづくりを目指す「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略（平成31年）」や、荻外荘の復原・整備に関連する施策との連携を図っていきます。



まずは、

(仮称) 荻外荘公園の公開に向けて
 スタート!






3 対象区域

本書では、「まちづくり方針対象区域」のうち、JR線路の南側エリアを主たる対象としますが、提案プランの内容によっては、「まちづくり方針対象区域」全体に広げて取り組みます。



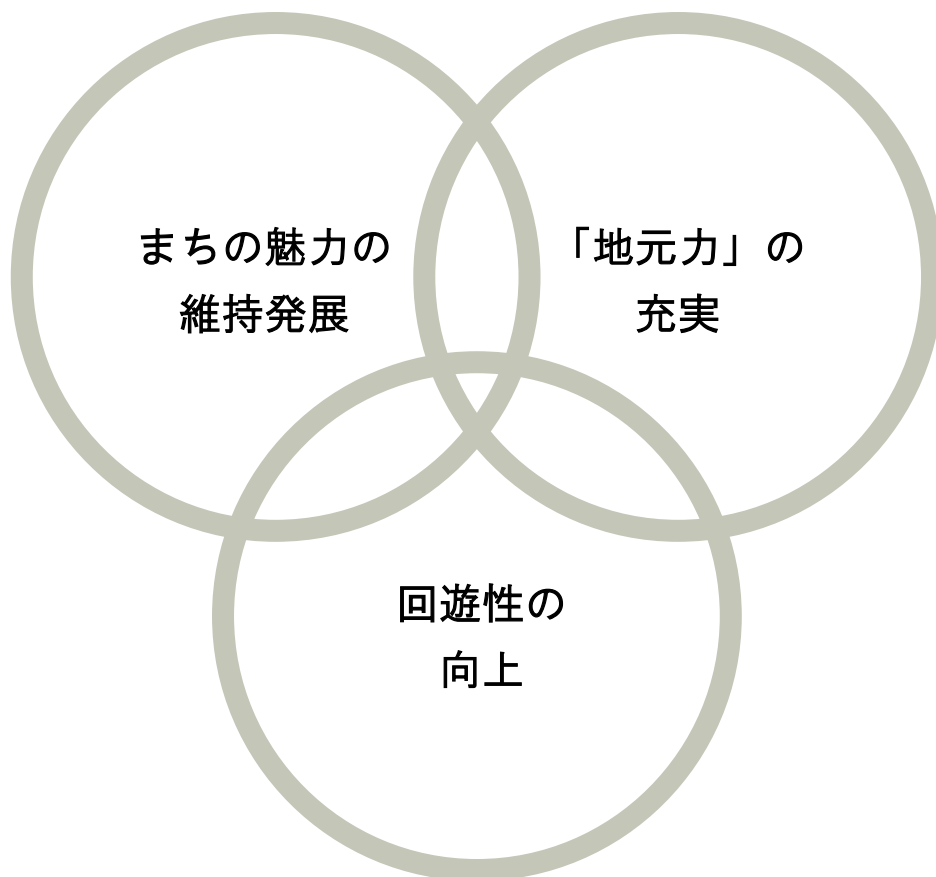
凡例

-  本書の主たる対象区域
-  まちづくり方針対象区域
-  町丁目境界

4

基本理念

この提案プランでは、まちの魅力を将来に渡って味わい楽しんでいただくために、まちの魅力を維持し更に発展させることに加え、地域全体で来街者を気持ちよくお迎えする「地元力」とも呼べるような力を充実させること、そして、地域住民の皆さまはもちろん、来街者の方にも楽しくまち歩きをしていただけることを目指し、「まちの魅力の維持発展」「地元力の充実」「回遊性の向上」の3つを基本理念に掲げます。



5 叶えたい具体的なまちのイメージと提案プラン

○叶えたい具体的なまちのイメージ

「まちづくり方針」で掲げている将来像及び目標Ⅳ「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現に向けて、前ページの基本理念を踏まえ、本書の実践によって叶えたい、4つの具体的なまちのイメージを定めます。

叶えたい具体的なまちのイメージ	
その1	まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる良好な住環境を守り育てるまち
その2	地域住民ひとりひとりが、また、地元団体、行政、事業者などが連携協力して、来街者を気持ちよくお迎えするまち
その3	貴重な歴史的・文化的資源を生かし、観て、学び、楽しむ場づくりに努めるまち
その4	歴史の面影を感じさせるみどり、まちなみを生かし、歩いて楽しいまち歩きの仕掛けづくりに努め、来街者に「住んでみたい」と感じさせるまち

基本理念

「まちの魅力の
維持発展」

「地元力の充実」

「回遊性の向上」

まちの将来像・目標 (荻窪駅周辺まちづくり方針)

将来像

「住宅都市杉並の芯として歴史文化を礎に にぎわいと住環境が調和したまち」

目標Ⅳ

「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」

○叶えたい具体的なまちのイメージ実現に向けた提案プランの見方

○まちの現状

「叶えたい具体的なまちのイメージ」に関連するまちの現状や、住民の意見等を整理しています。

○提案プランイメージ

実施予定の提案プランに関連する参考事例を整理しています。

叶えたい具体的なまちのイメージ【その1】

まちの成り立ち・歴史を尊重し、「住み続けたい」と感じさせる
 良好な住環境を守り育てるまち

■まちの現状

- ・農村から別荘地、郊外住宅地へと変化してきたまちの成り立ちは、荻窪らしさの一つです。
- ・都心に近いにもかかわらず自然豊かなこねなどから当時移り住んだ政治家・文化人等の邸宅や、文化住宅と呼ばれたモダンな**まちの現状**ています。
- ・当時の面影を残す古木を含む屋敷林等は、大切に維持されているものも見られますが、みどりの量は基本的には減少傾向となっています。
- ・いくつかの地元団体が、地域で様々な活動を積極的に実施しています。個々の団体同士がつながると更に面白い、という意見もあります。

■現状を踏まえた提案プラン

毎日「荻窪の記憶」＊プラン

● まちなかの何気ない場所で、まちの歴史について気軽に触れられる機会をつくり、新たな発見を楽しめるようにします。

※「荻窪の記憶」は、荻窪地区市民センター協議会が開催した、荻窪のまちの成り立ちに関する市民講座及びイベントの名称です。

それは知らなかった！プラン

● 主に地域住民の方を対象に、実際に活動されている地元ガイドの方々が、「それは知らなかった！」という新鮮な驚きを引き出すようなまち案内をします。

<既に実施されている取組です。>

ありがとう荻窪のウォーキング

● 潤いのある景観を届けてくれているまちのみどりの維持管理の一部を体験できる機会をつくり、みどり豊かな荻窪のすばらしさを共有します。

こんな活動してますプラン

● 地域で活動されているいくつかの団体間で、お互いの活動内容を共有できる機会をつくり、より楽しい活動や、新たな“化学反応”につなげます。

実施主体凡例：●地域住民・団体 / ■行政 / ▲事業者（企業、周辺の学校等）
 ※塗りばな実施主体者

■提案プランイメージ

<参考事例1：Portobello Road Arts Project（ロンドン）>

・毎年1人の地元アーティストにスポットを当て、ロンドン郊外の2kmの個性的なマーケットを結ぶ道路に沿った全長100mのレンガの壁に作品の展示を行うパブリックアートプロジェクトで、10年前から行われています。地域間の連続性の創出等に寄与しています。

*出典：THE ROYAL LONDON

提案プランイメージ

<参考事例2：落ち葉感謝祭の実施（杉並区/みどり公園隣）>

・日々の生活の中で恩恵を与えてくれる樹木や樹木の所有者に対し、落ち葉を掃くことやみどりのライフサイクルを学ぶことで、自然の恩恵や樹木所有者の日頃の活動に対する感謝を表現するイベントです。落ち葉プールや工作等の催し等も実施しており、みどりに親しむ機会の提供を行っています。

*出典：杉並区HP

コラム（地域の活動）

1、「荻窪の記憶」プロジェクトによるまちの歴史の伝承

明治・大正・昭和にかけて、別荘地から文化人を含む多彩な人々が暮らす郊外住宅へと発展した荻窪の歴史を振り返り、パネル展示や講座を通して伝える活動を行っています。

実施主体：荻窪地区市民センター協議会
 出典：荻窪地区市民センター協議会HP

2、荻窪の歴史・文化・地形に関するまち歩きガイド

コラム（地域の活動）により、まちに対する**荻窪を知るガイド**など、様々なまち歩き講座を実施しています。（株）明るい生活社 荻窪百点

・「荻窪満喫8の字コース」等複数のコースを設定し、地元ガイドによるまち案内を行っています。「荻窪三庭園めぐりコース」では、三庭園を結ぶエリアを「荻窪南文化トライアングル」として、その魅力を紹介しています。（一社）すぎみ文化協会まちづくり部会杉並ガイド（の会）

・「荻外荘通り」（地域愛称）を軸としてを軸として、大田黒公園、角川庭園、荻外荘などの歴史的・文化的資源を中心に訪ね歩く野外講座を開催し、気軽に楽しくまちを知る機会を提供しています。（荻窪地区市民センター協議会）

出典：各団体のHP

○現状を踏まえた提案プラン

まちの現状を踏まえ、必要と考えられる取組を提案プランとして掲げています。
 各提案プランに合わせ、実施主体についても整理しています。

○コラム（地域の活動）

地域の地元団体の方々の活動のうち、「叶えたい具体的なまちのイメージ」や実施予定の提案プランに関連する活動内容の一部をコラムとして紹介しています。